

## 平成 25 年度第 2 回鹿児島市交通事業経営審議会 会議概要

### ○ 日程・場所・出席者

(日 程)平成 25 年 10 月 31 日(木)15:00~16:20

(場 所)別館 4 階第 2 委員会室

(出席者)委員 9 名

(事務局)交通局総合企画課

### ○ 会議の次第・配付資料

(会次第) (1)平成24年度鹿児島市交通事業特別会計決算概要

(2)平成24年度目標効果額の達成状況

(3)交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成25年度上半期実施状況

(4)交通事業経営健全化計画の見直し

(5)その他

(配布資料) 資料1 平成24年度鹿児島市交通事業特別会計決算

資料2 平成24年度目標効果額の達成状況

資料3 鹿児島市交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成25年度上半期実施状況

資料4 交通事業経営健全化計画の見直しについて

別冊 平成25年度鹿児島市交通事業特別会計決算書

(協議の概要)

(1)平成24年度鹿児島市交通事業特別会計決算概要

(2)平成24年度目標効果額の達成状況

	委員の主な意見・質疑等
1	<p>エコドライブの徹底による効果額は、目標の半分にも満たないようだが、昨年度はどのような実績だったのか。</p> <p>運転手の意識が昨年と変わらないようであれば、ほぼ似たような成果が出てくるべき項目ではないかと思うが、このような悪い結果となった理由をどのように分析しているのか</p> <p>(事務局回答)</p> <p>23年度は、目標効果額950万円に対し、効果額が844万9千円となっており、達成状況は88.9%であった。</p> <p>外的な要因としては、気象条件等によって、暖房・冷房の使用時間は年度によって差があり、そのようなことが多分に関係してくる。今年も早くから暑い時期が続いており、こういった場合には電力の消費量も増えてきて、燃費が悪くなるということが考えられる。</p> <p>車の状況としては、毎年毎年老朽化する部分と、新しい車両に更新する部分があって、そこがどうなっているかというとなかなか分析が難しい部分があるが、老朽化していく台数の方がはるかに多いため、燃費がいい新しい車が若干入ってきたとしても、全体としては燃費が低下していくという面もあるのではないかと考えている。</p> <p>いずれにしても、職員への呼び掛けを徹底する、これは努力目標達成のために絶えず続けていかなければならないことだが、24年度のこのような結果を見て、今年度もさらに徹底しなければならぬと考えているところである。</p>
2	<p>適正な人員というのは、他局への出向が増えたことによるものという説明だったが、交通事業としてはそのことによって改善されたけれども、市全体、行政全体としての人員配置という面からは、他局に振り替えているだけ、という理解でよろしいか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>他局へ出向させる人数は、市の人員配置の状況によって決まるため、計画の時点では予測が難しいが、24年度においては、計画で予期していた人数よりも出向者の数が多くなっており、結果として、交通局としては、経営改善に繋がる効果が大きくなったところである。</p>

	委員の主な意見・質疑等
3	<p>管理の受委託については、委託料が予定よりも増えた一方で補助金は減少し、目標効果額に届かなかったとのことだが、委託してみないとどの程度の効果が出るかどうか分からないという面もあり、結果として予定していた程の効果は表れなかったという理解でよろしいか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>計画の時点においては、委託契約の具体的な中身が決定していなかったため、交通局で策定した計画に基づき、相当厳しい額で見積もりを作成したが、実際に契約してみると計画を超える契約額となったことから、効果額も思ったほどにはならなかったところである。</p> <p>今年度は計画の中間年度にあたることから、現実合った効果額で今後の見通しについて見直していきたい。</p>
4	<p>計画と比較して定期収入が減っているが、少子化や児童生徒数の減とか、そのあたりに原因があるとお考えか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>定期収入は、計画と比較した場合においては減少しているが、前年度との比較では、例えば軌道の収入では若干増加しており、バスの方も、全体的には落ち込んでいるが、定期収入についてはそれほど大きく落ち込んではいない、という状況である。</p> <p>計画策定時には、もう少しいい数字がでるのではないかと見込んでおり、そこまでは届かなかったが、現金や回数券による定期外収入に比べれば、それほど大きく落ち込んでいない状況である。</p>

(3)交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成25年度上半期実施状況

委員の主な意見・質疑等	
1	<p>交通局のオリジナルグッズは、なかなか市民の目に触れる機会が少ないのではないかと。 市役所や支所など、多くの市民の目に触れるような場所にも展示しておけば、また売れ行きも違ってくるのではないかと。 非常にいいものがあるのに、市民の中には、そのようなグッズがあることすら知らない方が多いのは残念だなと感じている。 是非宣伝にも力を入れて頂きたい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>おはら祭りのようなイベントの時にはグッズを販売し、また、裏面にグッズやイベント電車の案内を入れた名刺を配付するなど、各職員が宣伝を行っているが、さらにPRに努めていきたいと考えている。</p> <p>なお、今年度新たに製作した市営バスのオリジナルグッズ(プルバックカー)は、10月に販売を開始したが、ポスターを製作して主要な電車の停留場や車内に掲示し、また、交通局職員が市役所に出向いて出張販売を行い、さらにはTV番組にも取り上げてもらう等の広報を行った結果、現在までにすでに1,000個ほど売り上げたところである。</p>
2	<p>検討事項の中のパークアンドライドについては、実現性があるのか、もしくはどのような進捗状況になっているのか。</p> <p>また、交通局の持っている土地をパークアンドライドに利用するという考えや、大型のショッピングセンターの駐車場をパークアンドライドに活用する考え等の可能性も含めて、パークアンドライドへの取組について教えて欲しい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>現在検討しているパークアンドライドというのが、市電を利用したものあり、谷山電停周辺など郊外の駐車を利用して、そこから電車に乗り換えもらうという考え方である。谷山電停周辺には局有地が無いとため、民間の駐車場の管理会社とも話をしたが、4~5台分の駐車場はあっても、数十台停められる規模の駐車場はなかなか見つからない状況であり、また、あまりに小さな規模の駐車場では、雨の日など車が集中するとすぐに利用できなくなるため、パークアンドライドとしての機能を果たせないことから、駐車場の確保が難しい現状では実施困難だが、今後も民間との協議を継続し、情報交換を行ってまいりたい。</p>

委員の主な意見・質疑等	
3	<p>昨年度低床バスに乗った時に、運賃の表示器が非常に見やすくなっていたが、バリアフリーの一つとして、今後全体的に改善に取り組む予定があるか。表示器のカラーデザインが、バックが紺で文字が白と非常に認識しやすいデザインだったが、おそらく多くの企業で今カラーユニバーサルデザインへの取組をしていると思うので、その取組が、電停の表示にしても何にしても、広がっていけばいいと感じている。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>従来の運賃表示器は、基盤目状になった表示器に金額が表示されるようになっていたが、市営バスの場合、多くの路線で運賃がせいぜい 2～3 通りしかないことから、これから先は、画面の表示自体を変え、文字の大きさが変えられるような機種を順次導入していく。</p>

(4)交通事業経営健全化計画の見直し 特になし

(5)その他

委員の主な意見・質疑等	
1	<p>消費税とICカードの話で、鹿児島はそれほどICカードの普及率が低いとのことだったが、普及率を上げるとともに、増収のための取組を考えてはどうか。例えば、ICカードのデザインが素敵で、使いきれないかもしれないがお土産として買ってほしいとか、そういう気持ちになるようなICカードにして、観光にも活かすということも是非検討して頂きたい。普及率が低いからあまり対策を取らないのではなく、是非普及率を上げて、増収に繋がるようなことを検討して頂きたい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>都市部の方では二重料金の話があり、その件についてはまだ鹿児島の方では対応が難しいと考えているが、ICカードの普及については、当然取り組んでいかなければならないと考えている。</p>
2	<p>二重料金のことも含めてだが、1円2円のことでも、ICカードを持っていた方がいいと考える人が増えれば、それで必ず乗車率は上がる。</p> <p>あまり頻繁に乗らないからカードを持っていないという人が大勢いると思うが、そういう人たちがカードを持ちたくなる動機の一つとして、1円2円料金が変わるから、ということがあり、そのような感覚を持っている方はたくさんいると思うので、二重料金とすることも含めて検討して頂きたい。</p>